

第5期 雄武町総合計画

後期実施計画書

様式1

No. 09010081

政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	1	農業の振興	事業優先度		B	
単位施策	1	土地基盤の充実	政策事務分類	2	単独自治事務(個別計画)	
事業名	農業振興地域整備計画管理事業		見直し年度	9	産業振興課	
事業期間	平成26年度～平成29年度		関係課		#N/A	
事業主体	雄武町		ハード/ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
事業指標	整備計画の管理		関係例規・法令名	無		
事業目標	整備計画の管理		関係個別計画名	有	雄武町農業振興地域整備計画	
住民参加	無					
住民協働	無					

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	雄武町農業振興地域整備計画を適切に管理するため、計画で定める用途区分をオルソ画像に反映させる。 また、整備計画や地番データの変更があった場合には、その更新を行う。		計画で定める用途区分のオルソ画像への反映 修正が必要な用途区分の整理 委託料 1,600千円	整備計画の管理	整備計画の管理 変更された整備計画や地番データの更新 委託料 200千円	整備計画の管理 変更された整備計画や地番データの更新 委託料 200千円
	事業費(千円)	2,000	0	1,600	0	200
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	2,000		1,600	0	200	200
実 績 事 業 費	事業費(千円)	1,415	0	1,415	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	1,415		1,415			
特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		計画で定める用途区分のオルソ画像への反映 修正が必要な用途区分の整理 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持			
前期計画からの継続	年度目標値		整備計画の管理	整備計画の管理	整備計画の管理	整備計画の管理
第6期計画への継続	年度達成率	#DIV/0!	88%	#DIV/0!	0%	0%
	全体達成率	0%	71%	71%	71%	71%
	事業進捗状況		☆☆☆			

事業名	農業振興地域整備計画管理事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	農務係長	南 慎一

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	農地所有者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	農業振興地域の指定、変更、解除	
【抱える課題やニーズは】	保全すべき優良な農用地の確保と農業施策の計画的実施	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	農地の効率的・効果的な利活用	① 農業振興地域整備計画の管理	目標年度	平成26年度
			目標値	1計画
【その結果、どのような成果を表現したいか】 ※成果=目的	優良農地の確保と基盤整備	②	実績値	1計画
			達成度	100.0%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	計画で定める用途区分のオルソ画像への反映	計画で定める用途区分をオルソ画像へ反映させるため、業務を委託した。		
	農業振興地域整備計画の整理	農業振興地域の用途区分について、業務を委託し修正が必要な農地の整理を行った。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	農業振興地域整備計画を適正に管理し、計画の変更等を実施する必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	計画で定める用途区分をオルソ画像に反映し、農用地の適正な管理が図られた。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	達成
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成
	<input type="checkbox"/>	下回る

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	前回見直しの際、委託を行った業者に委託しており、前回データを活用できるため、事業費の抑制が図られている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減
	<input type="checkbox"/>	その他

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	農業振興地域整備計画に基づく町全体の農用地の適正な管理であるため、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/>	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
農業振興地域整備計画を適正に管理し、計画の見直し等が実施できた。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
保全すべき優良な農用地の確保するため、引き続き実施すべき事業であり、当分は現状維持が適当である。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 休止 廃止